

2025 年度 東京日英学院 自己点検・評価報告書

1. はじめに

日本語教育機関の告示基準第 1 条第 1 項第 18 号に基づき、本学の教育活動および運営状況について、2025 年度の自己点検・評価を実施いたしました。本報告書は、教育水準のさらなる向上と日本語教育機関としての目的達成を目指すためのものであり、その結果を公開いたします。

2. 点検・評価の概要

(1) 点検・評価の目的

日本語教育機関の告示基準への適合状況を確認し、改善点を明確にする。
教育の質、学生支援、学校運営等の現状を客観的に把握し、教育水準の向上に資する。
評価結果を組織内で共有し、次年度の教育計画や運営方針に反映させる。

(2) 点検・評価の期間

2025 年 4 月 1 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

(3) 点検・評価実施体制

実施責任者： 校長 鶴森 英夫

実施日： 2026 年 6 月 26 日

実施方法： 各部門による自己点検チェックリストへの記入、教職員会議での意見交換、校長による最終確認および承認

(4) 評価基準

以下の 3 段階評価を基本とします。

A：達成されている - 基準を満たし、良好に実施されている。

B：ほぼ達成されているが、改善の余地がある - 基準は満たしているものの、一部改善が必要な点がある。

C：達成に向けて努力中／改善が必要 - 改善が必要な点がある。早急な改善計画を策定し、実施する。

3. 点検・評価項目及び所見

項目		点検	評価
(1) 教育の理念・目標	学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	✓	B
	その内容が社会のニーズに合致したものとなっているか	✓	B
	所見		
	「本学は、外国人に対する日本語教育を行い、相互理解の深化を図り、もって国際交流の発展に寄与すること」を目的とする。認定日本語教育機関制度の開始を踏まえ、2024年度より教育理念・教育目標及び教育課程の見直しを進めている。2025年度は認定申請に向けた各種準備を段階的に進め、教育内容及び学校運営体制の整備を継続して実施した。今後も認定日本語教育機関として求められる教育の質の向上に努めていく。		
項目		点検	評価
(2) 学校運営	日本語教育機関の告示基準は満たしているか	✓	A
	学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	✓	B
	組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	✓	B
	所見		
	校長を中心として教職員が連携し、関係法令及び各種基準に基づいた学校運営を行っている。各種届出・報告についても適切かつ期限内に対応するとともに、校内規程やマニュアルを整備し、教職員が常時確認できる体制を維持している。認定日本語教育機関の申請に向け、運営体制のさらなる整備を進めている。		
項目		点検	評価
(3) 教育活動	教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか	✓	A
	学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	✓	A
	成績評価や進級、修了の判定基準は明確となり、運用されているか	✓	A
	教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善のための取り組みが行われているか	✓	B
	所見		
	認定日本語教育機関制度を踏まえ、教育課程及び到達目標の見直しを継続して実施している。課程及び教育目標については教員会議において共有し、教員間の共通理解を図りながら授業運営を行っている。また、外部研修への参加や校内研修を通じて教員の指導力向上に努めるとともに、教育課程の改善及び教材の充実を継続的に進めている。		
項目		点検	評価
(4) 学修成果	学生の日本語能力の向上が図られているか	✓	A
	学生の日本語能力が機関の定める到達目標に達しているか	✓	B
	学生の進路を適切に把握しているか	✓	B
	所見		
	教育課程に基づき日本語能力及び進路目標の達成に努めているが、修了時の到達目標については改善の余地があると認識している。特に進学希望者の中には希望する進学先へ進学できず帰国する学生も見られたため、日本語能力の向上及び進学指導のさらなる充実が		

(4) 学修成果	課題である。今後は日本語能力試験等の受験を積極的に促進するとともに、個別面談や進路指導を強化・制度化を進め、学修成果及び進学実績の向上に努めていく。進路状況については、進路決定書類等により適切に把握・管理している。		
項目		点検	評価
(5) 学生支援	学生に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか	✓	B
	健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか	✓	A
	防災や緊急時における体制が整備されているかといった観点	✓	B
	所見		
	新入学生に対する生活指導や在校生への進路面談を継続して実施するとともに、健康診断及び緊急時の連絡体制を整備している。一方で、進学結果を踏まえると、学習支援及び進路支援についてはさらなる充実が必要であると認識している。今後は学生一人ひとりに応じた進学指導や学習相談を強化し、よりきめ細かな支援体制の構築を進めていく。		
項目		点検	評価
(6) 教育環境	日本語教育機関の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	✓	A
	教材は適切か、学習効率を図るための環境整備がなされているか	✓	B
	所見		
	教室には大型液晶モニター等を設置し、ICTを活用した授業環境の充実を図っている。また、在籍管理についても管理体制及び運用方法の見直しを進め、より適切な学生管理が行える環境を整備した。今後も教育環境及びICT環境の継続的な改善に努める。		
項目		点検	評価
(7) 入学者の募集	入学者の募集は適切に行われているか	✓	A
	募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	✓	A
	授業料等は適切か	✓	A
	所見		
	募集活動については適切に実施している。2025年度に授業料等の改定を行い、安定した教育環境の維持を図った。今後は募集人数だけでなく、日本語学習意欲や学習能力を十分に確認したうえで、教育目標に適した学生の受入れを一層重視していく。		
項目		点検	評価
(8) 財務	中長期的に財務基盤は安定しているか	✓	B
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	✓	A
	財務について会計監査は適切に行われているか	✓	A
	財務情報の公開の体制はできているか	✓	B
	所見		
	財務状況は安定して推移しており、年度当初に策定した収支計画に基づき適切な運営を行っている。決算については税理士の確認のもと適正に処理している。また、認定日本語教育機関の申請及び今後の学校運営を見据え、中長期的な財務計画及び設備整備計画の策定を進めている。		

項目		点検	評価
(9) 法令遵守	出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守と適切な運営を行っているか	✓	A
	個人情報の保護の取組を適切に行っているか	✓	A
	自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	✓	A
	所見		
	各種法令の遵守を徹底している。個人情報に関しては、セキュリティ機器の設置、また人為的な漏洩がないよう日々、注意喚起や指導を実施している。自己点検及び評価は、日本語教育機関の告示基準に基づき、遅延なく実施している。		
項目		点検	評価
(10) 地域貢献 社会貢献	日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、生徒のボランティア活動への支援、公開講座等の実施などの取組を行っているか	✓	B
	所見		
	教育実習生の受入れを通じて大学との連携を継続している。今後は地域行事への参加や地域住民との交流活動を積極的に推進するとともに、地域の学校等教育機関との連携についても検討を進め、地域社会との交流及び国際理解の促進に努めていく。		

4. 総括と今後の課題

2025 年度は、教育活動及び学校運営を概ね適切に実施することができた。また、学生募集についても安定した学生数を確保し、学校運営の安定化を図ることができた。

一方で、進学希望者の進路実現や日本語能力の向上については、引き続き改善すべき課題があると認識している。今後は日本語能力試験等の受験促進、個別指導及び進路支援の充実を図り、学修成果及び進学実績のさらなる向上に努めていく。

また、認定日本語教育機関の申請に向けた準備を本格的に進めており、教育課程、学校運営体制、教職員研修及び各種規程等について継続的な見直し・改善を実施している。今後も PDCA サイクルによる自己点検・評価を継続し、質の高い日本語教育の提供と教育環境の充実に向け、教職員一同取り組んでいく。

5. 公表方法

本報告書は、本学の公式ウェブサイトにて公開いたします。

東京日英学院 公式ウェブサイト <https://www.tokyoje.com/>

東京日英学院
校長 鶴森 英夫